

# 一般質問



## 仙北市行政改革大綱について 団塊世代の大量退職は人材の 損失か?! 本庁舎建設は?!

田口勝次

まずは旧三町村時代の  
反省から

**質問** 仙北市の行財政改革にあたっては、まずは旧三町村時代の財政運営そのものを基本的に反省しなければならぬと考える。仙北市が示している「危機的状況に直面している」という認識は地域間、職員間そして議員間においても違いがあると思うが如何か。

**市長** 旧三町村の各々の業務の様々な要件を引き継いで合併し現在の仙北市がある。当然財政運営の厳しさも引き継いだ。それを解決するため行政改革大綱を定め、その他の総合計画の中で取り組もうとしている事で、当然反省があつてこういった項目が上がつて来ている。認識についても若干の温度差があつたのは確かであるが、行事や業務を一緒に取り組む事により「差」を解消しつつ現在取り組んでいる所である。

団塊世代の大量退職は  
人材の損失か

**質問** 「大綱」の中に「団塊世代の大量退職は人材の損失」とあるが、この考え方は的確性を欠いている。大量採用による弊害があつ

たと考えるべきだ。

この大量退職を機会に思い切った組織改革、職員の自己変革を求めるべきと考えるがこの点は如何か。

**市長** 大量退職は団塊世代だけでなく、一十五年、二十六年退職、ここにもっと大きい山がある。定年退職をベースにする事なしでの人員計画は立てられない。退職に大きく頼りながら、業務の継続性を維持するために若干の採用をしようというのが人員適正化計画の本身。

市民のニーズは多様化しており業務が減るわけではない。財政の対応のためも含めてスリムな体制の中で、更に増える業務をいかにこなすかという事にチャレンジしていくというのがこの行政改革大綱である。

民間委託について

**質問** 民間で出来るものだが多様なニーズに対応するにも、行政のスリム化を図るにも、そうした体制は必要と思う。

**市長** 今後どんな分野・業務を民間に委ねていくのか。指定管理者制度を導入し、積極的に民間委

託を行っている所であるが、今後においては、例えば図書館とか、市民会館、又は体育施設や福祉施設、こういった様々な分野で、サービスを落とさずに、よりローコストでできないか。計画大綱の中で具体的な検討を進めていきたいと考えている。

プライマリーバランス  
について

**質問** 財政運営にあたってはプライマリーバランスの維持が理想であり、既に国もその具現化を表明している。

仙北市は国と違い市税の大幅な増税は期待できない。行動計画に記している程度の施策ではアンバランスは是正できないと思うが。

**市長** 現在の仙北市では、その年の発行している借務料は返済している額より多い状況ではない。残債を少しづつ減らしている。決してアンバランスな状態ではない。

本庁舎建設について

**質問** 本庁舎建設に対する市長の発言にブレがあるように思う。基本とする考えを再度伺いたい。

合併協議時には十年間の合併特例債の適用範囲の後半にという事でしたが、これを出るだけ前倒ししたい。本庁舎方式の方向性、目処については私の任期中で出したいという考えは今も変わっていない。従つて平成十九年度予算に調査費を置かせて頂きまして。この中で本庁舎方式時の組織機構のあり方、場所、新築か等を検討して行きたい。

プライマリーバランス

地方債などの借金を除いた歳入と過去の借金の元利払を除く歳出を比較する。歳出の方が多ければ赤字となり、将来の借金負担が経済規模に比べ増大することになる。黒字になれば、新たな借金は過去の借金返済に充てられるため、財政が健全であることを示す。



4月1日から(株)アロマ田沢湖に委託された市民浴場「東風の湯」